

会 議 録

1. 会議の名称 令和4年度第2回協働推進委員会
2. 開催日時 令和4年10月27日（木）19時00分～21時00分
3. 開催場所 熊取町役場北館3階大会議室
4. 議題
(1) 住民提案協働事業制度「団体提案型」の公開プレゼンテーション等
① lalala くまとり
② 人とペットに優しい街、くまとりプロジェクト
③ Viento Kitchen（子ども食堂）
(2) 委員会判定会議（非公開）
5. 公開・非公開の別 一部非公開
【一部非公開の理由】 委員会判定会議については、提案事業の採択・不採択の審査の公正かつ適切な意思決定を担保するため、当該情報は審議会等会議公開指針第3条第1号に該当すると判断し、非公開とした。
6. 傍聴者数 2人（一般）、7人（事業所管課）
7. 審議等の概要
(1) 住民提案協働事業制度「団体提案型」の公開プレゼンテーション（2団体）、質疑（1団体）
実施にあたり、審査基準を確認のうえ、審査結果は町に提言を行い、町が事業実施の可否を決定後、後日郵送で通知することを説明した。
その後、委員と提案者による質疑応答を実施した【別添参照】。
(2) 委員会判定会議（非公開）
【審議結果】
上記①の「団体提案型」の提案について、不採択となった。
上記②～③の「団体提案型」の提案について、採択となった。
8. 会議の情報
名称 協働推進委員会
根拠法令等 協働推進委員会規則
設置期間 平成22年12月7日～
所掌事項 住民提案協働事業の審査等及び協働のまちづくりの推進に関して町長から意見等を求められた事案に対する協議・検討及びそのほかの協働のまちづくりの推進に関すること
委員数 6人

令和４年度 第２回協働推進委員会（R4. 10. 27）

■「団体提案型」公開プレゼンテーション 提案団体に対する委員からの質疑応答概要

□ ① lalala くまとり

提案団体：混声コーラスそよかぜ

【質問】 委員

提案書に町への期待として、将来、部活動の地域移行に貢献できればということが記入されているが、これは具体的にどういう意味なのか。

【回答】 提案者

小中学校のクラブ活動において指導者が不足しているという課題解決に貢献できればと考えている。まだ具体的な取組は決まっていないが、コーラス体験会５回のうち３回を、夏・冬・春休みの期間に小中学生が参加し体験できるものにできればと考えている。

小中学校から依頼があれば喜んで協力したい。

【質問】 委員

地域移行の取組の確認であるが、学校から外へ出て地域の活動の中に学校の人たちを巻き込むということなのか。

【解答】 提案者

中学校での部活動の指導において教師の負担がかなり大きいということを見聞きしている。その中で、部活動の指導を外部指導者に任せるといった意見もある。そういった課題解決のお役に立てればと考えている。

【質問】 委員

予算の件について、報償費の指導講師・伴奏者謝礼に係る費用は適正であるか。

【回答】 提案者

謝礼については世間相場である。

【質問】 委員

「うたごえ喫茶」は何人くらいの人数の参加を見込んでいるか。また、周知方法は。

【解答】 提案者

コロナ以前は、コットンホールで定員１２０名の参加チケットが即完売していた。実際の参加人数は１００人前後。チラシで周知している。

【質問】 委員

「うたごえ喫茶」のチケット収入の使い道は。また、参加者の広がり方が会員の知り合い等、限定的になっていると思うので、もう少し広がりを持たせるための方法をどのように考えているか。

【解答】提案者

チケットの購入費 500 円を協力金としてお菓子や飲み物に係る費用に充てている。

会員以外への広がりについては、会場の定員があるためこれ以上広げることができない。

町民会館ホールが新設され、もっと集客できる場所ができれば参加者を広げていきたい。

「うたごえ喫茶」では、参加者がみんなで歌いたい曲をリクエストしてもらうため、人数が増えすぎるのも問題。

高齢の参加者から来年も楽しみにしているという感想をいただくこともあり、地域に根差した活動により皆さんを元気にしていく合唱団であり続けたいと考えている。

【質問】委員

住民提案協働事業補助金が、提案書に記載がある 3 つの事業を実施することにより、町の地域課題を役場と一緒に解決していく事業のために活用されるという理解でよいのか。

【解答】提案者

そのとおりである。

【質問】委員

住民提案協働事業の補助金を獲得することにより、町と一緒に新たに実施する活動にどのように繋がるのかイメージできるものがあれば説明して欲しい。

【解答】提案者

町歌を自分たちらしい新たな編曲をしたいと考えている。その編曲を専門家に依頼する費用に補助金を活用したい。

【質問】委員

食糧費が 10 万円計上されているが、来年度「うたごえ喫茶」を開催することになれば、参加費はようになるのか。また、参加者はこれまでどおりの募集方法になるのか、町民みなさんに広く知ってもらえるような募集方法になるのか、どのように考えているか。

【解答】提案者

協働事業に採択された場合は、広報誌などで広く募集し、抽選により決定することになると考えている。参加費用については団体で検討する。

□ ② 人とペットに優しい街、くまとりプロジェクト

提案団体：特定非営利活動法人しっぽのごえん

【質問】委員

これまでの取組みについての感想は。

【回答】提案者

4 月に図書館で子どもたちが犬に絵本を読み聞かせする企画を実施した。最初は犬と触れ合えて

いなかった子どもが、最後には犬と触れ合うことができるようになった。保護者からも嬉しい言葉をいただく等、「人と動物に優しい」という事業の目的が町民の皆さんにも伝わったのではないかと考えている。

【質問】 委員

高齢化により高齢者施設が増加しているが、高齢者に対応できるような企画はあるか。

【回答】 提案者

ある大学の作業療法士の先生と連携し、アニマルセラピーの取組をフリースクールで実現できないか協議し、仲間づくりや組織づくりを進めているところである。高齢者施設から依頼があれば協力したい。

【質問】 委員

フランスでは高齢者施設での人手不足の解消として、AI を搭載した人形を使った癒し効果をもたらす取組がある。人形と生きている動物とは癒し効果等に違いはあると思うが、この点についてはどう考えているか。

【回答】 提案者

人形は想定されている動きしかしないため個性がない。匂いも鼻息も出ない。その点では生きている動物からは、より「生」を感じてもらえる存在であると思う。

□ ③ Viento Kitchen（子ども食堂）

提案団体：Viento Kitchen（子ども食堂）

【質問】 委員

どこまでのエリアにチラシを配布しているのか。どのエリアに住んでいる子どもが参加しているのか。

【回答】 提案者

福祉事業を行っている関係で、相談員を通じて熊取町にお住まいの方へ直接配布しているケースもあるが、商業施設への配布は町内のみ。参加している子どもについてはまだ集計ができていないが、感覚的には徒歩で参加できる範囲のエリアに住んでいる子どもが多いと思われる。

【質問】 委員

今年度から協働事業として実施しているが、事業をやって良かったと感じているか。お弁当を渡す基準はあるか。

【回答】 提案者

やって良かったと感じている。嬉しい声をいただくこともある。福祉事業を行っていることもあり、そこでの繋がりも生まれている。

子ども食堂なので、基本的には子どもにお弁当を渡している。大人だけの場合は極力お断りしている。

【質問】 委員

事業の開催場所は会社のスペースだけなのか。

【回答】 提案者

経費が必要となるため、自分たちで他の広い場所を用意することができない。現在の場所、会社から借りているため無料。約30席が限界。他の場所も探してはいるが、見つかっていない状況。

【質問】 委員

事業へ参加する子どもについて、色んな方に来てもらいたいのか、本当に困っている居場所を求めている方が固定的に来てもらいたいのか。

【回答】 提案者

どちらとも考えている。リピートすることにより、関係性が強くなるため、引きこもり等の課題に対応してあげることができる。また、参加者が固定化しすぎると良くないとも考えており、協働事業の行政テーマ型を見据えると、しっかりと人数を増やしながら月1回の開催を目指していきたい。

【質問】 委員

昨年度のプレゼンテーションの中で、熊取町の貧困層にターゲットに向けて事業を実施するという話があったと思うが。

【回答】 提案者

貧困層のみにアプローチする方法が見つかっていない。小学校や保育園でチラシを配布しているため、貧困層だけに絞るのではなく全体的なアプローチになっている。

【質問】 委員

子どもの教育等に対して悩みを抱えている人たちへの対処方法等はあるか。学校や教育機関に繋がることも必要であると考えるが、この点についてはどう考えているか。

【回答】 提案者

株式会社 Viento の福祉事業のメンバーが事業の中心となっており、普段の仕事から児童福祉や高齢者・障がい福祉の知識を持っているということで、相談を受けることがある。自分たちだけでなく、同じような悩みを抱えている保護者や子どもと繋がせてもらうこともある。また、対応できる福祉サービスを紹介することもある。